

株式会社マルキチの株式取得について

2022年12月27日

株式会社ヨシムラ・フード・ホールディングス（証券コード：2884）

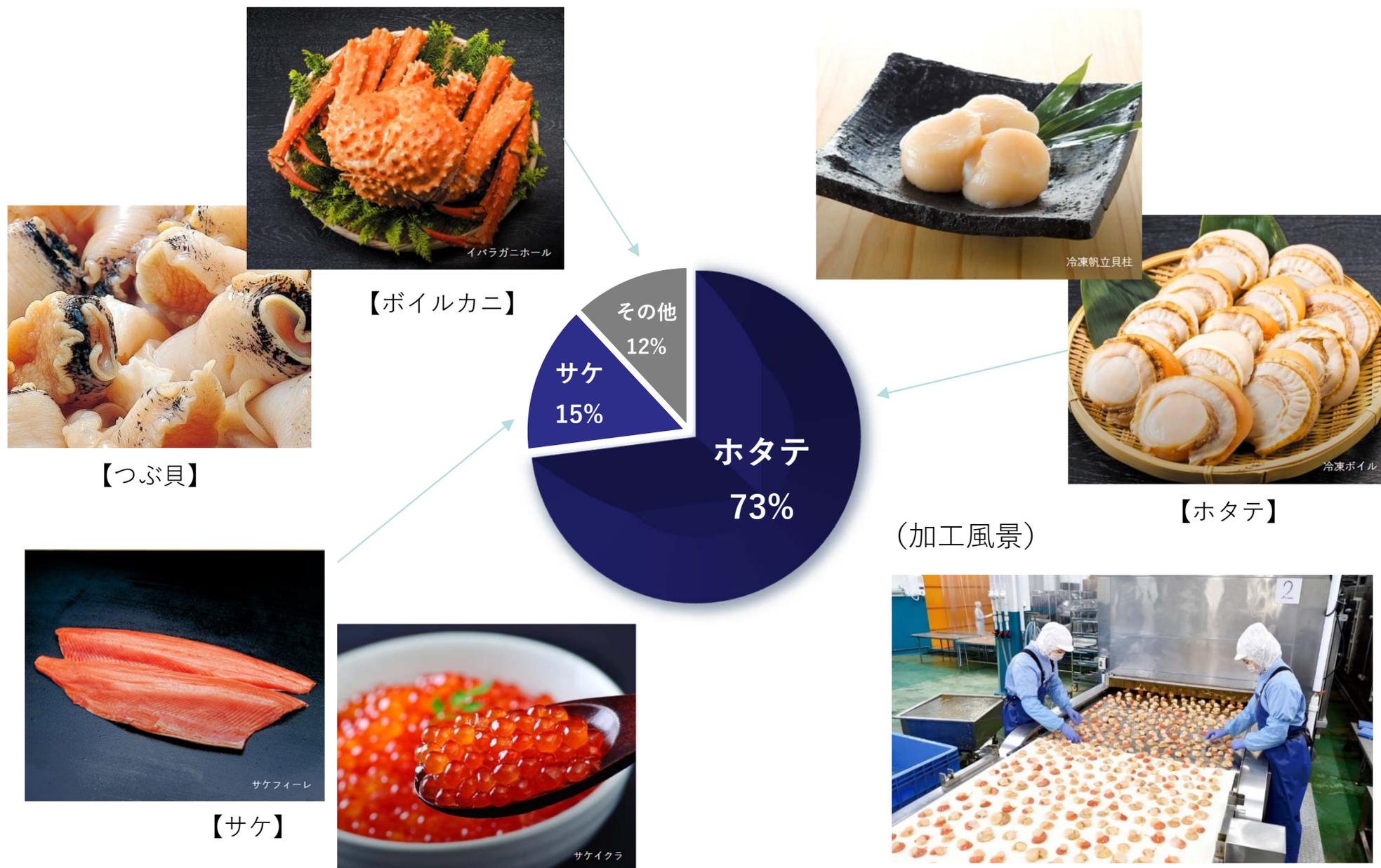
案件概要

- 株式会社マルキチ (<https://marukichi-inc.co.jp/>) の発行済株式70%を譲り受ける。
- マルキチは北海道網走市に本社及び工場を構え、ホタテを中心に、サケ、イクラ、カニ等の製造加工・販売や鮮魚等冷凍水産品の卸売を行う。メイン商材は輸出向けホタテであり、日本産ホタテの需要が拡大している海外への販売を積極的に行っている。
- オホーツク海にて地撒き方式で育てられた良質なホタテ等、新鮮で高品質な素材を調達し、オホーツク海に面する自社工場で高度な鮮度管理を行っている。
- 長年にわたり培われた、獲れたての美味しさを保つ独自の加工技術により、新鮮さと品質を維持したまま加工販売が可能。
- 保有する4つの自社工場は、すべてHACCP認証工場であり、業界では数少ない対EU輸出水産食品取扱施設でもあることから衛生管理には定評がある。

会社概要

会社名	株式会社マルキチ
本所在地	北海道網走市北三条東二丁目5番地2
代表者	根田 俊昭
設 年 月 立 日	創業 1949年、法人設立 1988年
資本金	3,000万円
事業内容	冷凍ホタテ貝柱他帆立製品、鮭・鱒製品及びサケイクラ等鮭鱒魚卵、カニ類製品、冷凍食品の製造及び販売
従業員数	143名（2022年10月末時点）
U R L	https://marukichi-inc.co.jp/

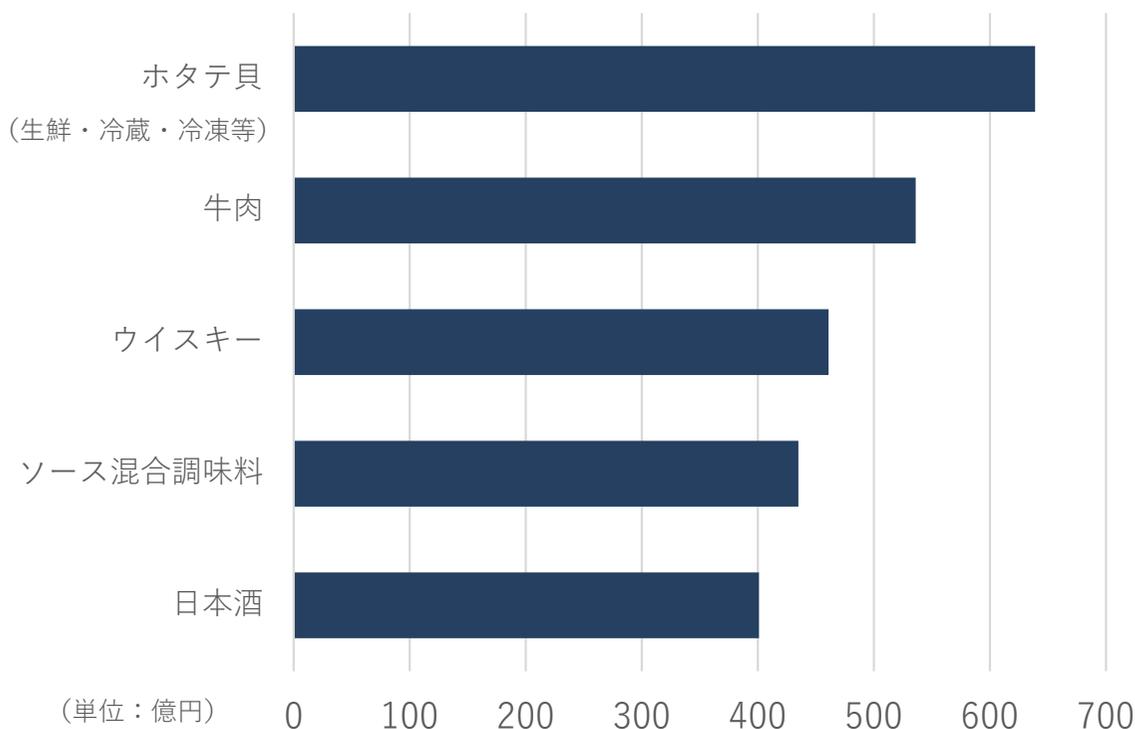
主要商品（商品別売上比率）



市場環境

- 日本産ホタテは味や大きさ、品質面において海外から高い評価を受けており、近年需要がさらに高まっている。2021年ホタテ輸出額は「農林水産物輸出額」で1位、「輸出額の増加が大きい主な品目」でも金額ベースで1位となっている。

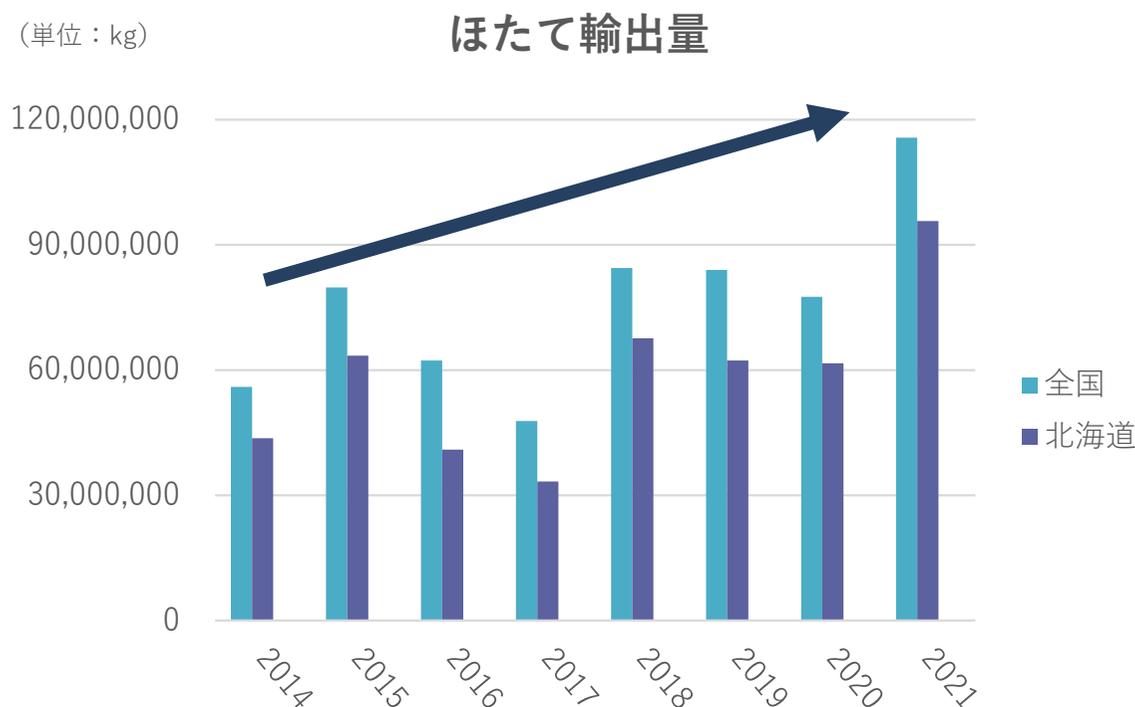
2021年農林水産物の輸出額トップ5



出典：農林水産省 農林水産物・食品の輸出額（令和3年（2021年）【確々報値】）

市場環境

- 北海道産ホタテは高鮮度流通や衛生管理に長けており、世界的に希少な生食可能の冷凍ホタテであることから、世界的な需要の高まりに繋がっている。
- 中でも、北海道オホーツク海にて地撒き方式で育てられたホタテは、流氷に含まれる豊かな栄養素によりプランクトンが増加した海で生育され、他の地域で行われている垂下式のホタテと比較し運動量も豊富なため、大粒で肉厚に育つとともに、栄養分をたっぷりと蓄え、旨味成分が凝縮されており、世界でも希少価値のあるホタテと評価されている。



出典：農林水産省 農林水産物品目別実績（輸出）

マルキチの特徴、強み

原料調達力

- 北海道の漁協5カ所の買参権を保有していることから、オホーツク海で獲れた良質なホタテを安定的に確保することができる。

品質および鮮度の維持

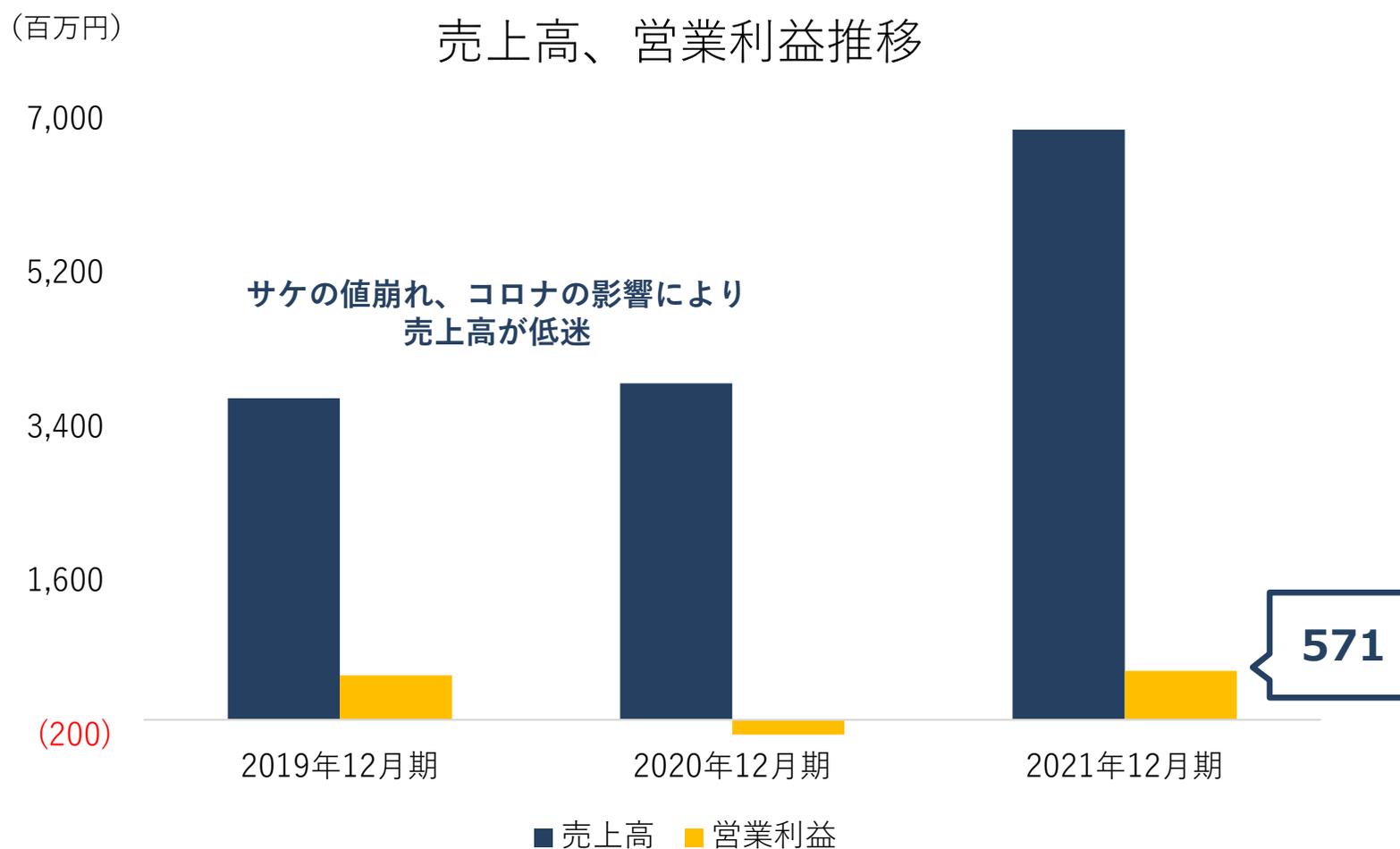
- 工場はオホーツク海に面しており、立地優位性がある。そのため、新鮮な原材料をその日のうちにスピード加工し、獲れたての鮮度と品質を維持できるとともに、長年にわたり培われた独自の製技術や高度な加工技術により高品質な製品を製造することが可能。

徹底した衛生管理

- ホタテ輸出には相手国ごとにHACCP認証を取得する必要がある中、マルキチは徹底された衛生管理により、取得が難しいとされる米国、EUを含めた世界7カ国に対しHACCP認証を取得している。特にEU向けは、4つすべての製造工場と原料保管庫の計5カ所が輸出水産食品取扱施設に認定されており、需要が高まる海外市場に向けた販売が可能となっている。

業績推移

- 日本産ホタテの需要回復により、2021年12月期は売上が増加
- 今期の売上は前期並で着地見込



取得理由

- 当社は、今後も海外を中心に需要の拡大が見込まれる北海道産ホタテを仕入れる権利、それを加工する技術と生産設備、輸出に必要な品質認証を保有するマルキチをグループ化し、当社が持つ経営管理力や資金力、シンガポールを中心とした海外販路やネットワークを組み合わせることで、マルキチのさらなる業績拡大を図ることができると考え、株式を取得する。
- 株式会社ヤマニ野口水産や株式会社雄北水産など、国内で水産品加工を行う当社グループ企業とのシナジーが見込めるため。



グループにおけるシナジー

- 当社グループであるSin Hin Frozen Food Private Limitedは、ホタテを主力製品のひとつとして、年間約170トン以上購入しており、現地大手スーパー等へEmeraldブランドとして販売を行っている。Emeraldブランドは現地で一定の知名度があるため、マルキチの安定したホタテ供給力を活かした拡販が可能となり、一方でマルキチは海外販路をより強固なものとするため、両社の業績向上を図れる可能性がある。



- ホタテ以外の水産品についても、水産品加工販売を行うPACIFIC SORBY PTE. LTD.にてマルキチの水産品を取扱う等、当社が持つアジアにおける販路を活用した拡販を行える可能性がある。

今後のスケジュール

- 取締役会決議日：2022年12月27日
- 契約締結日：2022年12月27日
- 株式譲渡実行日：2023年3月1日（予定）

実行後の経営体制

- 当社はマルキチの発行済株式70%を取得し、現代表取締役である根田俊昭氏が引き続き30%を保有するとともに代表取締役社長を継続。
- 共に協力関係を構築し、シナジー効果を発揮することで、マルキチの業績向上を目指すとともに、北海道における食品事業の拡大を図っていく。

MARUKICHI



 YOSHIMURA
FOOD
HOLDINGS

